

PICだより

国際機関 太平洋諸島センターの活動を紹介

太平洋諸島センター（PIC、正式名称：南太平洋経済交流支援センター）は、1996年10月に、太平洋島嶼国および豪州・ニュージーランドの16の国で構成される地域国際機構太平洋諸島フォーラム（PIF）と日本政府との間で設立された国際機関です。日本と太平洋島嶼国間の貿易・投資・観光の促進に向けて活動しています。毎回直近の半年間においてPICが実施しているビジネスプロモーション活動について紹介します。

ギフトショーに出展

2月8日～10日まで、東京ビッグサイトで開催された東京国際ギフトショーに出展。今回は6カ国（クック諸島、ミクロネシア連邦（FSM）、マーシャル諸島、パラオ、サモア、トンガ）から企業を招へいし、アイランドドレス、装飾品、化粧品などを中心とする輸出希望品を紹介した。



斎藤所長と参加企業関係者

パシフィック・マルシェ、太平洋文化芸術祭内で開催

2月25・26日に横浜の大さん橋ホールにて開催された第4回太平洋文化芸術祭において、PICは、日本と太平洋島嶼国のビジネス・文化の交流を促進すべく、会場内で太平洋島嶼国の物産を販売する「パシフィック・マルシェ」を実施した。太平洋協会、パシフィック・インターナショナル株式会社、MGコーポレーション株式会社、リブラ株式会社、サステナブル・クルー株式会社が参加し、島々の様々な商品の販売が行われた。来場者の多くが初めて見る商品の試飲やスタッフとの間で新しい商品についての情報交換が行われ、大盛況となった。



パシフィックマルシェの様子

大盛況のマリンダイビングフェア2017

4月7日～9日まで、池袋サンシャインシティ文化会館で開催されたマリンダイビングフェア2017に出展。来場者数も5万人を越え、昨年以上の盛り上がりを見せた。パラオやPNG、FSM コスラエ州、クック諸島に加え、マーシャル諸島が初参加し、メインストリートは太平洋諸島一色となった。PICのブースは、太平洋に関するクイズ&抽選会に長い行列ができるなど大変好評。また7日のJATA ディスティネーションセミナーにおいて、サモア、バヌアツ、フィジーの観光地としての魅力を斎藤所長をはじめ3人のプレゼンターが熱心に語り、来場者も興味深く聞き入っていた。



太平洋諸島センターの出展ブース

ソロモン諸島とナウルに職員派遣、ソロモンではビジネスセミナー開催

4月、高田プロモーションコーディネーターがソロモン諸島とナウルを訪問した。ソロモン諸島では、コーヒーを中心とした輸出希望企業と面談を行ったほか、現地商工省協力の下、貿易担当官や民間企業を対象としたビジネスセミナーを開催。ナウルでは、同国の資源であるリン鉱石からアクセサリを製作する企業などと面談。また、外務貿易省担当官より貿易に関する最新の状況を伺い、PICとの今後の連携を確認した。



左：ビジネスセミナー、右：ナウル製アクセサリ

PIF 事務局長のPIC訪問、ミクロネシア三国の在京大使らと意見交換会

5月3日から横浜で開催されたアジア開発銀行（ADB）の年次会合に参加するため来日したテイラー PIF 事務局長一行は、2日、PICを訪問。その際、フリッツ在京 FSM 大使、マツタロウ在京パラオ大使、ノート在京マーシャル諸島臨時代理大使（参事官）を招待し、ミクロネシア三国に対する PT&I ネットワークならびに PIC の活動について意見交換した。



太平洋諸島センターで意見交換

太平洋諸島ビジネスセミナーを開催

7月4日、JETRO と PIC の共催で太平洋諸島ビジネスセミナーを開催、120名を超える参加者があった。PIC 黒崎副所長の基調講演に続き、太平洋諸島での事業展開事例として、本田技研工業株式会社、株式会社南西環境研究所、株式会社立花商店がそれぞれ講演。その後、近畿大学の畝川准教授の司会で、パネルディスカッションを行った。最後に、高田プロモーションコーディネーターより、今秋予定しているビジネスミッションの派遣につき、フィジーとサモアの事例を交えて説明した。



セミナー会場の様子